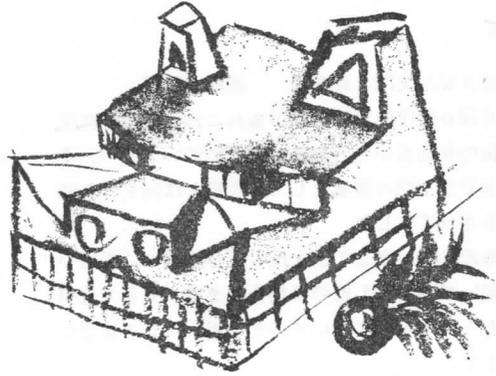


会報

THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

II 月



松田美恵さんの絵

第 388 回 例 会 1967.1.31 (火) 雪

例 会 場 鶴岡市本町二丁目 ひ さ ご や (2) 0707・2838 番

事 務 所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (2) 5775 番

BETTER WORLD THROUGH ROTARY

(ロータリーでより良き世界を)

出席報告

本日の出席	会 員 数	57名
	出 席 数	48名
	出 席 率	84.21%
前回の出席	前回出席率	77.19%
	修正出席数	53名
	確定出席率	92.98%

欠 席 者 荒明君、八丁目君、本間君、佐藤(仁)君
佐藤(昇)君、佐藤(寅)君、高橋君、津田
君、鷺田君

メインクエスチョン

荒明君、嶺岸君、八丁目君、三井君、五十嵐(一)君、佐藤(昇)君、海東君
—鶴岡西RC

林 君—東京日本橋RC

大 野 君—東根RC

ビジター

本間義勝君—酒田RC

ソング

奉仕の理想 リーダー 三井(健)君

司 会

会長 早坂源四郎君

◆ 会長報告

① アイリオンさんのスポンサークラブ、トルマンズパークRCよりパーナー到着

② 去る21日鶴岡商工会議所に於て鶴岡青年会議所創立総会があり出席しました。会員数47名初代理事長には当RC今間君の御子息信一郎君が就任されました。この青年会議所の項領を紹介しますと『我々JC(会員)は社会的、国家的、国際的責任を自覚し、志を同じくするものが合い集い力を合わせ、青年としての英智と勇気と熱情を以て明るい豊かな社会を築きあげよう。又その目標は①自己の企業を通じて日本経済の正しい発展を図る。②個人的修練を図り社会への奉仕に努める。③国際的理解と親善を図る。……RCとその目標が非常に類似して居ります。又会員資格は25才~40才迄の若い層であり、非常に若い力がみなぎっている点印象的でした。今後の発展を祈ると共に私共も若い人に負けない活動をしなければならない事を痛感致しました。

③ 鶴岡西高インターアクトクラブにつき去る26日三井委員長、小花、栗本(西クラブ会長)両君とともに西高校長並びに阿部教官と会談し相方共理解致しました事を報告します。学校当局の考えと期待を充分尊重し私どもの資料と致したい考えです。尚会員は現在25名前後で例会場は学校とし、結成大会は発会式を兼ね来る2月26日に挙行の予定です。委員長始め委員各位の御協力をお願いします。

④ 当RCの次期役員と理事の選出方法についてお諮りします。従来は指名委員会の指名による方法を取り、その委員は会長に一任しておりましたが従来通りでよいかどうか……全員従来通りの案に賛成。

○指名委員……早坂会長、小花君、三浦君、佐藤(伊)君、池内君、斎藤(栄)君、張君、小池君、三井(健)君

卓話

松永安左工門と青春論 池内方平君

去る1月22日付庄内日報『酒田あれこれ』記事中に庄内証券社長の和島氏が庄内青年会議所について述べ、その中に松永安左工門の言葉として『青春とは何ぞや』について記るされてました。

私が和島氏に会いまして松永氏の青春論について書いたものを載せて参りましたので紹介します。そして皆様からも青春というものについて考えを新たにしておきたいと思ひます。

『青春とは人生の或る期間を言うのではなく心の様相を言うのだ。優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こう言う様相を青春と言うのだ。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時に初めて老いがくる。歳月は皮膚のしわを増すが、情熱を失う時に精神はしぼむ。苦悶や孤疑や、不安、恐怖、失望、こう言うものこそ恰も長年月の如く人を老いさせ、精気ある魂をも芥に帰せしめてしまふ。

年は70であろうと、16であろうと、その胸中に抱き得るものは何か。曰く、「驚異への愛慕心」空にひらめく星晨、その輝きにも似たる事物や思想に対する歓迎、事に処する剛毅な挑戦、小児の如く求めて止まぬ探求心、

人生への歓喜と興味。

人は信念と共に若く 疑惑と共に老ゆる。

人は自信と共に若く 恐怖と共に老ゆる。

希望ある限り若く 失望と共に老い朽ちる。

大地より、神より、人より、美と喜び、勇気と壮大偉力との靈感を受ける限り人の若さは失われぬ。これらの靈感が絶え、悲歌の白雪が人の心の奥までも蔽いつく、皮膚の厚氷がこれを固くとぎすに至ればこの時にこそ人は全くに老いて神の隣りを乞ふる他はなくなる。

さてこの松永安左工門という方は長崎五島の出身、明治8年生まれで92才、慶応大卒業で私の尊敬する人物の一人であります。私の学生時代、大正の頃ですが、当時松永さんは40代と思ひます。この頃電力勃興時代で、第一次世界大戦が始まり我が国の電力需要は急速に伸びました。その当時日本には数多くの電灯会社が各地にありましたが、この様な小さな電灯会社では、その需要に応じ切れない実情でした。そこで大正の中期から各電力会社は合併し積極的に電力の開発をやったわけです。これが5大電力時代です。

この5大電力の一つである東邦電力の松永さんは九州の長崎から遂次地方の中小電灯会社を合併し、四国、関西、中部、東京と次第に北上して参りましたが第一次大戦終了と同時に電力需要は減り窮境に追い込まれたのです。5大電力とは九州の東邦電力、関西の宇治川電気、中部では大同電力と日本電力、東京の東京電灯で我が国電力事業の殆んどを支配していたのです。東北にはこの

様に合併した会社はなかったようです。この不況時に5大電力は安売り競争にしのぎをけずったわけで電力事業は非常に危険な状態になりました。

昭和の始めになり515事件、2.26事件が起り世の中は大きく変動、政府の大陸政策と結びついて5大電力も解消、9配電会社と国の管理に近い日本発送電という会社が出来たのです。第二次大戦後再び変わり日本発送電が解散、現在の9電力会社となったのです。

松永さんは5大電力時代の終わりと共に私財を投じ、電力中央研究所を創設され、現在尚92才の高齢で元気に理事長をやり、第一線で活躍しておると聞いておりますこの松永さんは福沢諭吉先生の教育を受けられた方であり、その崇拜者でもあります。

一昨年頃の雑誌、実業の日本にも『人間福沢諭吉』と題して20数回にわたって書いておられました。松永さんは実業家として、政治と殆ど関係する事なく電力唯一路に全力を尽された方でもあります。

我々もこの松永さんの青春論を訓と致しまして青春を失わずに仕事に精進したいものと思ひます。

連絡事項

幹事報告 幹事 笹原桂一君

会報到着 東京、郡山、新発田、村上、本荘RC
国際ロータリー加盟認証状伝達式

飯田南	5.14 (日)	飯田東中学校
戸倉、上山田	4.16	戸倉、上山田中学校
国分寺	5.14 (日)	

国際奉仕委員

SuNB URY-ON-THAMES RoTAPY CLuB
ENGLAND; からお礼状が参っております。

前に私達の送ったロータリーの生活のカラーズライドと説明写真をお送り返して来ましたので、その代りに鶴岡の四季のカラーズライドを挨拶状と一緒に送らせて致しますのでお知らせ致します。

FRANKFuRT.A.MAIN.RoTARY.CLuBからクリスマスカード、年賀状の挨拶が来ております。

スマイル

今間君、御子息信一郎君、鶴岡青年会議所初代理事長に就任。

石井君、松田君、斎藤(得)君、五十嵐(伊)君、五十嵐(一)君

御子息並び事業所従業員が鶴岡青年会議所会員となる

会報委員よりおわび

1月24日付388号は387号の誤りです。

御訂正願います。